

令和4年4月 加算算定状況等調査 結果の概要

(調査目的) 介護事業等の経営支援および制度改正・報酬改定に向けた課題整理

(調査期間) 令和4年5月11日(水)～5月27日(金)

(調査方法) Web調査 (Microsoft フォームズ)

(調査対象/回収数)

サービス種別	配布数	回収数	回収率
特別養護老人ホーム	4,399	1,806	41.1%
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	372	323	86.8%
短期入所生活介護	35	1266	-
通所介護	3,958	1230	31.1%
地域密着型通所介護	3	242	-
認知症対応型通所介護	42	134	-
特定施設入居者生活介護	762	281	38.5%
地域密着型特定施設入居者生活介護		12	
その他	1,221	327	26.8%
計	10,792	5,621	52.1%

1. 取るべき加算の状況(処遇改善および LIFE 関連加算を除く)

※ 令和3年12月に全国老施協が整理

○デイサービスの入浴介助加算Ⅰの算定が増加しているが、その他の加算は横ばい。

特養	デイサービス
① 安全対策体制加算 (算定率) R4.4 : 70.7%、R3.7 : 69.3%	① 入浴介助加算Ⅰ (算定率) R4.4 : 93.1%、R3.7 : 88.2%
② 日常生活継続支援加算 (算定率) R4.4 : 79.5%、R3.7 : 80.5%	② 入浴介助加算Ⅱ (算定率) R4.4 : 10.0%、R3.7 : 10.1%
③ 夜勤職員配置加算 (算定率) R4.4 : 87.2%、R3.7 : 86.2%	③ 個別機能訓練加算Ⅰ(イ) (算定率) R4.4 : 41.5%、R3.7 : 38.3%
④ 看護体制加算Ⅰ (算定率) R4.4 : 88.9%、R3.7 : 87.3%	④ 認知症加算 (算定率) R4.4 : 17.2%、R3.7 : 15.3%
⑤ 看取り介護加算 (体制有) R4.4 : 65.0%、R3.7 : 69.8%	⑤ サービス提供体制強化加算 (算定率) R4.4 : 94.0%、R3.7 : 93.5%

2. 処遇改善加算、特定加算、支援補助金の取得状況

- 加算の取得状況は、処遇改善加算と特定加算で 10%程の差がある。(前年同様)
- 介護職員処遇改善支援補助金の取得状況は、特定加算より更に 10%程の差がある。

		処遇改善加算		特定加算		支援補助金	n 数	
		R4.4	R3.7	R4.4	R3.7	支援補助金	R4.4	R3.7
1	特養	99.4%	99.3%	91.9%	91.6%	81.3%	1,806	2,252
2	地域密着特養	99.4%	99.2%	91.0%	91.1%	77.7%	323	363
3	ショート	99.2%	99.2%	91.9%	92.2%	79.1%	1,266	1,786
4	デイサービス	98.7%	99.0%	89.1%	88.3%	76.5%	1,230	1,564
5	地域密着デイ	97.1%	95.2%	81.8%	81.0%	76.0%	242	334
6	認知症デイ	97.0%		90.3%		78.4%	134	
7	特定	96.8%		88.3%		79.7%	281	
8	地域密着特定	91.7%		75.0%		75.0%	12	

(参考) 処遇改善の取得状況によって 19 パターンの賃金改善 …特養 1,806 か所の分布

	処遇改善加算	特定加算	支援補助金	施設数	割合	一施設あたり月額 (円) ※
1	(I)	(I)	あり	1,188	65.8%	2,045,800
2			なし	239	13.2%	1,792,560
3		(II)	あり	121	6.7%	1,979,703
4			なし	35	1.9%	1,727,376
5		なし	あり	65	3.6%	1,599,648
6			なし	31	1.7%	1,352,568
7	(II)	(I)	あり	34	1.9%	1,665,745
8			なし	8	0.4%	1,417,752
9		(II)	あり	14	0.8%	1,599,648
10			なし	1	0.1%	1,352,568
11		なし	あり	23	1.3%	1,219,593
12			なし	8	0.4%	977,760
13	(III)	(I)	あり	6	0.3%	1,219,593
14			なし	1	0.1%	977,760
15		(II)	あり	12	0.7%	1,153,496
16			なし	0	0.0%	912,576
17		なし	あり	5	0.3%	773,441
18			なし	4	0.2%	537,768
19	なし	なし	なし	11	0.6%	0

※ 一施設あたり月額は、処遇改善加算等を従来型多床室 70 床での試算した目安です。実際の額は、要介護度、加算・減算、稼働率などの状況で異なります。

3. LIFE について

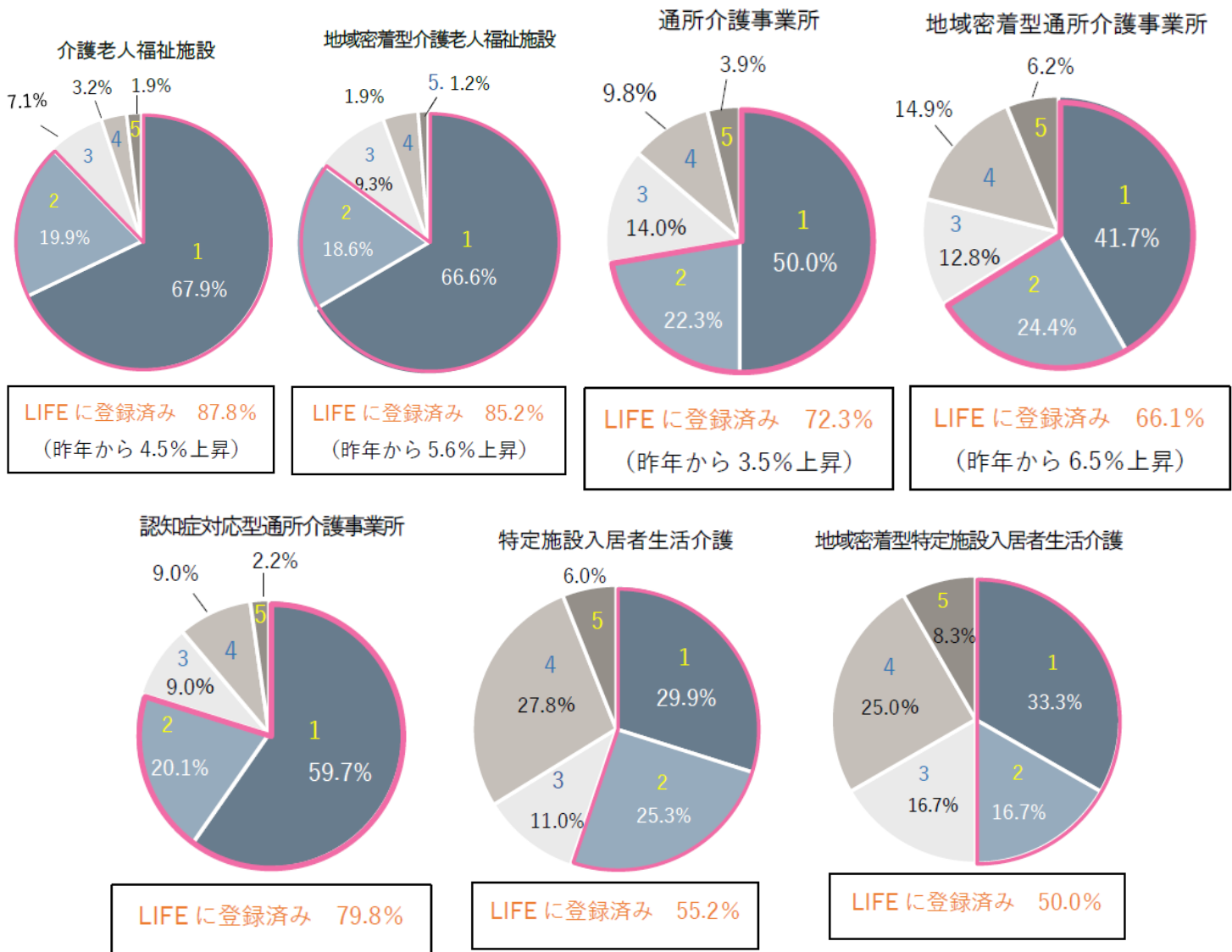
(1) LIFE 導入状況(LIFE システムへのユーザー登録の状況)

OLIFE のユーザー登録は、特養が9割程、通所系が7割程、特定施設は5割程。

OLIFE のユーザー登録状況(①+②)は昨年度比で5%ほど増加している一方で、「④ユーザー登録を行う予定はない」と回答する方が一定数いる。

No	特養	地密特養	通所介護	地密デイ	認知症デイ	特定	地密特定
①	67.9%	66.6%	50.0%	41.7%	59.7%	29.9%	33.3%
②	19.9%	18.6%	22.3%	24.4%	20.1%	25.3%	16.7%
③	7.1%	9.3%	14.0%	12.8%	9.0%	11.0%	16.7%
④	3.2%	4.3%	9.8%	14.9%	9.0%	27.8%	25.0%
⑤	1.9%	1.2%	3.9%	6.2%	2.2%	6.0%	8.3%

- ① ユーザー登録を終えて、LIFE 関連加算を1つ以上算定している
- ② ユーザー登録は終わったが、LIFE 関連加算は算定していない
- ③ ユーザー登録をこれから行う予定
- ④ ユーザー登録を行う予定はない
- ⑤ LIFE とは何かまだよくわかっていない



(2)LIFE 関連加算の取得状況

○科学的介護推進体制加算の取得が進んでいる。

○特養・デイともに「栄養・口腔関係」の取得率が低い傾向にあり、特養では「自立支援促進加算」の取得が進んでいない。

①特別養護老人ホーム等

		特養		地域密着特養	
		R4.4	R3.7	R4.4	R3.7
1	科学的介護推進体制加算	62.0%	49.5%	59.4%	50.1%
2	個別機能訓練加算Ⅱ	28.5%	-	18.9%	-
3	ADL維持等加算	21.6%	19.1%	18.0%	17.9%
4	褥瘡マネジメント加算	33.0%	35.4%	31.3%	34.7%
5	排せつ支援加算	20.2%	21.5%	17.3%	19.8%
6	自立支援促進加算	10.6%	12.3%	14.0%	14.0%
7	栄養マネジメント強化加算	37.0%	29.6%	42.4%	38.0%
8	口腔衛生管理加算Ⅱ	16.6%	-	18.9%	-
n 数		1,806	2,252	323	363

②デイサービス等

		デイサービス		地域密着デイ		認知症デイ	
		R4.4	R3.7	R4.4	R3.7	R4.4	R3.7
1	科学的介護推進体制加算	49.2%	41.1%	40.5%	32.3%	63.4%	-
2	個別機能訓練加算Ⅱ	27.9%	-	14.5%	-	18.7%	-
3	ADL維持等加算	24.7%	25.1%	15.7%	19.2%	20.2%	-
4	栄養アセスメント加算	5.2%	-	6.2%	-	10.4%	-
5	口腔機能向上加算Ⅱ	5.3%	-	5.7%	-	5.9%	-
n 数		1,230	1,564	242	334	134	-

③特定施設等

		特定		地域密着特定	
		R4.4	R3.7	R4.4	R3.7
1	科学的介護推進体制加算	33.1%	-	25.0%	-
2	個別機能訓練加算Ⅱ	9.6%	-	8.3%	-
3	ADL維持等加算	12.8%	-	8.3%	-
n 数		281	-	12	-

(3)介護記録ソフトについて

※ 本調査結果は、特養、地域密着型特養、デイサービス、地域密着デイ、認知症デイ、特定、地域密着特定の調査結果を合算しています。

使用している介護記録ソフトの LIFE への対応状況 (n=4,028)

項目名	全サービス合計
対応している	77.3%
対応していない	10.1%
介護記録ソフトを使っていない	3.8%
LIFE の登録を行っていない	8.8%

(補問 1) LIFE に対応している記録ソフトについて

項目名	全サービス合計
一括でデータ提出が可能であり LIFE への手入力は不要	48.1%
一部において手入力が必要	39.1%
大部分において手入力が必要	12.7%

(補問 2) LIFE に対応していない記録ソフトについて

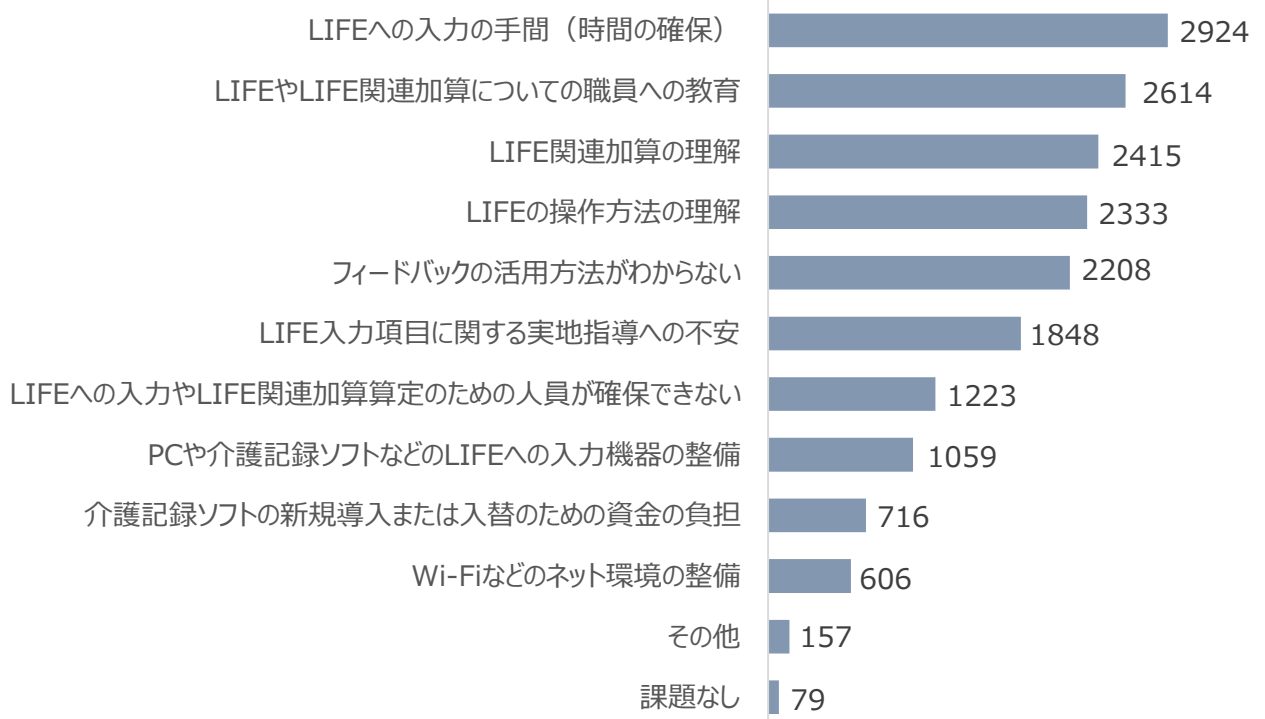
項目名	全サービス合計
今後対応する予定	54.2%
今後対応する予定はない	45.8%

(補問 3) 記録ソフトを使用していない施設について

項目名	全サービス合計
導入を検討している	61.0%
今後も導入の予定はない	39.0%

(4)LIFE の活用において課題だと感じている点 (n=4,028) ※複数回答

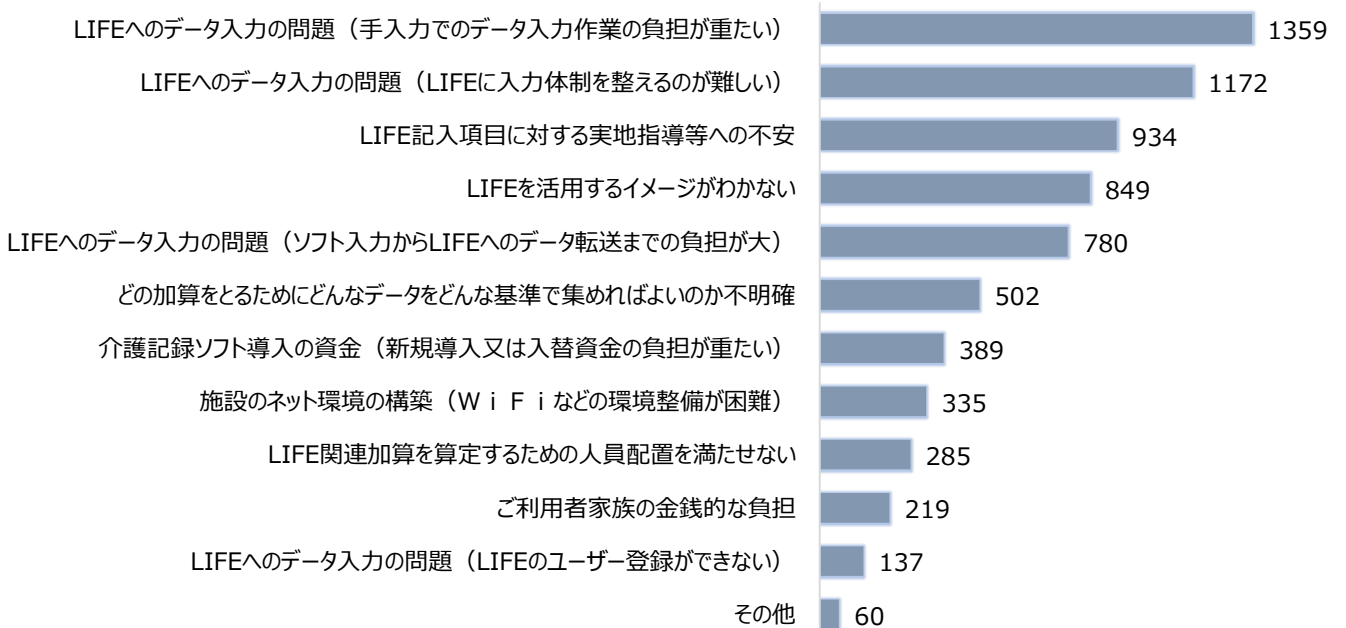
※ 本調査結果は、特養、地域密着型特養、デイサービス、地域密着デイ、認知症デイ、特定、地域密着特定の調査結果を合算しています。



(参考) 令和3年度 科学的介護情報システム(LIFE)導入状況調査 (令和3年6月30日~7月9日実施)

LIFE の活用において課題だと感じている点 (n=2,555) ※複数回答

※ 本調査は、特養、地域密着型特養を対象としています。



4.テクノロジーの導入状況(加算関係)

○特養及びショートに加算に関するテクノロジーの導入の届出は、日常生活継続支援加算及び夜勤職員配置加算の取得施設が多いことから、少しずつ増加している。

○特定施設に加算に関するテクノロジーの導入の届出は、入居継続支援加算の取得状況が低く（特定施設 1.1%、地域密着型特定 0%）、届出は 0.0%。

		日常生活継続支援加算関係		夜勤職員配置加算関係		入居継続支援加算	n 数	
		R4.4	R3.7	R4.4	R3.7	R4.4	R4.4	R3.7
1	特養	7.0%	4.8%	7.5%	4.9%		1,806	2,252
2	地域密着特養	6.2%	3.6%	5.3%	6.9%		323	363
3	ショート			5.7%	3.1%		1,266	1,786
4	特定					0.0%	281	
5	地域密着特定					0.0%	12	

（参考）「業務の効率化及び質の向上又は職員の負担の軽減に資する機器を複数種類使用」の要件

- a 業務の効率化及び質の向上又は職員の負担の軽減に資する機器（以下「介護機器」という。）を複数種類使用していること。
 ただし、少なくとも以下の①～③の機器は使用することとし、①は全ての居室に設置し、②は全ての介護職員が使用すること。
 また、効率化された時間は、ケアの質の向上及び職員の負担軽減に資する取組に充てること。
- ① 見守り機器
 - ② インカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資する I C T 機器
 - ③ 介護記録ソフトウェアやスマートフォン等の介護記録の作成の効率化に資する I C T 機器
 - ④ 移乗支援機器
 - ⑤ その他業務の効率化及び質の向上又は職員の負担の軽減に資する機器
- b 介護機器の使用に当たり、介護職員、看護職員、介護支援専門員その他の職種の者が共同して、アセスメント（入所者の心身の状況を勘案し、自立した日常生活を営むことができるように支援する上で解決すべき課題を把握することをいう。）及び入所者の身体の状態等の評価を行い、職員の配置の状況等の見直しを行っていること。
- c 介護機器を活用する際の安全体制及びケアの質の確保並びに職員の負担軽減に関する次に掲げる事項を実施し、かつ、介護機器を安全かつ有効に活用するための委員会を設置し、介護職員、看護職員、介護支援専門員その他の職種の者と共同して、当該委員会において必要な検討等を行い、及び当該事項の実施を定期的に確認すること。

略